

平和行動 in 長崎、三浦半島地域連合から 樁事務局次長が参加の連絡及び報告書紹介



8月8日(月)～10日(水)に「2022 平和行動 in 長崎」へ参加をしました。

被爆から77年を迎え、現在ロシアによるウクライナへの進行や中国の軍事演習が頻繁に行われ、戦争に対して意識が高まる中で、連合平和ナガサキ集会への出席となりました。集会では被爆経験者からの当時の様子が語られ、原爆の恐ろしさ、決して二度と戦争を起こしてはいけない、未来の子供たちへ悲惨な経験をさせてはいけないとの強いメッセージが訴えられました。より当時の状況を学ぶため、歴史に触れられる原爆資料館の見学や、長崎市内に今も残る戦時中の爪痕を連合長崎の方々より説明を受けながらのピース・ウィークにも参加しました。

今回の平和行動に参加をして、世界で唯一の被爆国に生まれ、現地で感じる経験は労働運動に限らず、今後生きていく上での大切な財産となりました。

最後に、コロナ感染が収まらない中で感染予防を行いながらの行事運営をしていただき感謝申し上げます。



当時の経験を今に伝える



追悼慰霊 浦上川 万灯流し



平和祈念式典はホールで参加



ピース・ウィーク 連合長崎スタッフより説明



平和合唱はコロナ対策として手拍子にて実施